

津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議 ～設立趣旨等の説明～

1. エリアマネジメントとは

1-1 エリアマネジメントとは

エリアマネジメントとは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、**住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み**のことをいいます。

1-2 エリアマネジメントの特徴

エリアマネジメントは、個人的活動や従来の行政サービスによっては得られにくい、**地域による地域全体の広域的な価値を創造する取り組み**と言えます。

特徴1 「つくること」だけでなく「育てること」

これからは、開発(「つくること」)だけでなく、その後の維持管理・運営(マネジメント)の方法、つまり「育てること」までを考えた開発を行うこと、また、既成市街地等においても維持管理・運営を行い、地域を「育てること」が必要とされています。

特徴2 行政主導ではなく、住民・事業主・地権者等が主体的に進めること

成熟した都市型社会の地域づくりにおいては、「個性豊かな地域」や「住民・事業主・地権者等に身近な地域」を実現することが重要です。また、地域の問題が多様化し、その解決方法も様々になりつつあることから、行政主導ではなく住民・事業主・地権者などの地域の担い手の主体的取り組みが重要となっています。

特徴3 多くの住民・事業主・地権者等が関わりあいながら進めること

エリアマネジメントは、地域が一体となって、地域に関する様々な活動を総合的に進めるものです。そのために、「地域の総意を得る」、「活動メンバーとして主体的に参画する」、「活動に対して費用負担をする」等、様々な関わり方が求められています。さらに、エリアマネジメントは住民・事業主・地権者等の他に、必要に応じて行政や専門家・他組織などと関わりあいながら進めることも特徴です。

特徴4 一定のエリアを対象にしていること

エリアマネジメントは地域の多くの住民・事業主・地権者等が関わり合いながら進めるものですので、一定のエリアを対象にすることが基本です。活動の目標や内容、活動段階や熟度といった特性に応じて設定しますが、明確なエリアを設けない場合もあります。

2. 津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議の設立

津駅西口駅前広場には、多くの様々な車両が集中しているが、敷地面積は限られているため、再編後も無秩序に集中する全ての車両を受け入れることは困難。

そのために、交通の**整序化**を図るための**効率的な乗降場等の利用方法やルールを定め、乗降場等の施設を適切に運営していく仕組みを作ることが重要。**

各交通施設について事業者等と考える場として

津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議を設立

エリアマネジメント会議において各交通事業者が乗降場等の適正な利用や管理を行えるよう、主体的に管理運営方法を検討

全体の管理・運営の調整

駅前広場の交通の整序化を図り、魅力的かつ快適なエリア構築を目指す

3-1. 津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議の構成①

津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議

交通事業者

交通管理者

道路管理者

その他地権者

地元自治会

学識経験者

行政

【利用対象毎に部会】

利用対象	交通施設
タクシー	乗車バス・降車バス
路線バス・ スクールバス	バス停留所、停留するバス停車帯
送迎車両	自家用車の乗降バス
荷捌き車両	荷捌き用停車スペース

→

タクシー部会

→

路線バス部会

→

送迎部会

→

荷捌き部会

3-2. 津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議の構成②

津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議

